



# 豊浦の森

豊浦中学校学校だより

令和5年11月30日

## 地域の中で

11月は、ここ豊浦地区で成長する生徒のみなさんが、中学生としてできることに取り組んだり、地域や豊浦中について考えたりする機会がたくさんありました。また、小中の先生方や地域の代表の方々に構成されている「豊浦学校運営協議会」も行われ、豊浦の子どもたちについて大人が語り合う会もありました。

## 豊浦中学校説明会 11月22日(水)

豊浦小学校の6年生と保護者の方をお招きし、豊浦中学校説明会を行いました。来年度から致道館中学校が開校になるため、6年生は中学校を選ぶことができます。どちらを選ぶことももちろん応援していますが、6年生に豊中を知ってもらい、よさを伝え、生まれ育った地域にある豊中への入学を大いに楽しみにしてほしい、と開催することにしたものです。1・2年生の希望者で結成したプロジェクトチームが発案・計画し、当日の運営まですべて生徒が行いました。撮影から編集まで行ったビデオチームが豊中の生活や行事を紹介。グループに分かれて校舎を回りながら学校紹介〇×クイズ。学校紹介をしたチームが導く先は、全校生徒が待つ体育館。3年生にも協力してもらい、校歌と文化の集いで歌った合唱「ほらね」を披露！迫力のある合唱に、たくさんの拍手を頂きました。「来年一緒にがんばっていこう、待ってるよ」という1・2年生の思いは、きっと伝わったと思います。合唱ですばらしい姿を見せ、片付けになったらいつの間にかどンドン手伝ってくれる3年生も、さりげなくてとてもかっこよかったです。よく考え、自分から協力して実行する、そんな全校生徒の姿こそが、豊浦中のよさであり、魅力だな…と思った1日でした。



## 卒業生講話

本校卒業生で専門学校2年生の佐藤晴さんから「地域への恩返し」という、お話を聞く機会もありました。晴さんは今年7月に「私に取り組んでいる『おらほのノート』という企画に、中学生からボランティアで協力してもらいたいの、お話をさせてもらえませんか」と、自分から中学校にきて、ボランティアの募集をしていったことがあります。豊中生と5～7歳しか変わらない晴さんの思いと行



動に感動し、この企画に至る地域への思いや中学生の頃のことなどをお聞きしたいと思っていました。小学1年の時に6年生だった晴さんに優しくしてもらったことを覚えている人もいて、ほんとに身近なお姉さんだなと思います。そんな晴さんのお話を聞いて、地域への思いを新たに、自分の生き方にいかすプラスのエネルギーになった人がたくさんいました。感想を数名紹介します。(裏面へ)

※8月の企画ボランティアの写真です

晴さんのいう通り自分たちの地域をアピールするには自分たちがその地域を好きで、その地域のことをたくさん知っていなければいけないと思った。また、田舎だからこそその楽しさだったりおいしい物だったりがあるという良さを知ることができて自分もこの地域が好きになりました。  
(3年 Sさん)

中学の時に経験した生徒会だったり部活だったりを活かして自分のしたいことが実現できていてすごいと思いました。なので、晴さんが言っていたようにすべてのことに意味を考えてみたりして次の行動に活かしてみたいなと思いました。話を聞いてもらったりアドバイスを受けていたり、一人の力だけでなく周りの人と協力して作っているのも参考にしたいと思いました。(3年 Sさん)

自分のお世話になった故郷のためにワークショップを自分で企画して開催をする行動力や発想力がすごいと思った。また、今は交流が少なくなってきた地域と子供の間関係をまた盛り上げようとしている発想がすごいと思った。そして、それらの行動から地域へ恩返ししようという思いが伝わってきました。(2年 Mさん)

頑張っって全力で取り組むということも難しいことですが何よりすごいと思ったのが、賞が取れず実現できるかわからないという中であきらめたり投げ出したりせず、どのようにすればこれから作っていけるかということをもっ先に考え、すぐに行動するそのような行動力です。僕はあまり一つのことを続けるということが苦手ですぐにあきらめたりしてしまいます。だからこそ今回の講話を聞き何事もあきらめず行動を起こそうと思いました。(2年 Iさん)

自分は晴さんみたいな努力家になるのはとても簡単ではないと思います。晴さんは豊浦地区の住民や学生さんたちに良いところを知ってもらいたい、楽しんでもらいたいという思いを持ち、みんなに届くように活動していると思ったので本気で人のために活動している晴さんは違うなと思いました。もちろん僕も晴さんに近づけるよう、段階を踏み、考え方や行動の仕方を参考にさせていただこうと思います。(1年 Sさん)

# 福祉まつりボランティア

- 11月 3日 小堅福祉文化まつり
- 11日 由良健康福祉まつり
- 12日 三瀬地区福祉まつり

今年も地域のボランティアでたくさん学ばせていただきました。地域のために笑顔で働く気持ち、とてもいいですね！



紹介だけになりますが、11月15日に学校運営協議会のみなさん(地域の代表の方々)と小中学校の先生方で「育てたい豊浦の子どもの姿を考える」というテーマで話し合いが行われました。家庭、地域、学校が一緒に子どものよりよい育ちを支援していければと思います。